



今日のトピック ハイテク株主導で高値更新の米国株式市場 経済活動の前向きな変化を受けつつ堅調さを維持しよう

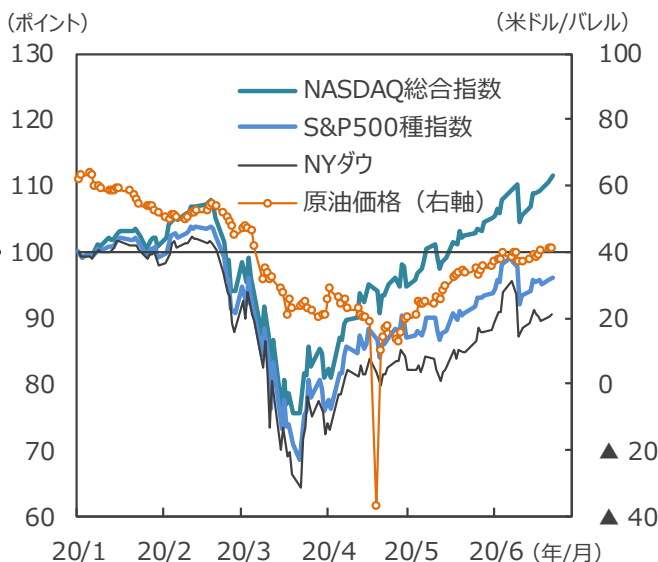
ポイント1 史上最高値を更新したNASDAQ総合指数 ウィズコロナでハイテク株がけん引

- 23日の米国株式3市場はハイテク主導で堅調に推移しました。特にハイテク企業のウエイトが高いNASDAQ総合指数は8営業日連続で上昇し、史上最高値の10,131.368で引けました。テキサス州など複数の州で新型コロナウイルスの感染が拡大する中、ウィズコロナに適したハイテク株が大きく上昇しました。原油価格の上昇や今後の政策に対する期待も市場をけん引しました。

ポイント2 原油価格の安定も寄与 マクロ指標にも安心感

- 原油価格が堅調に推移していることも株価上昇に寄与しました。WTIは3月6日以来の40ドル台と戻りました。新型コロナウイルスの感染拡大は懸念されても再び都市封鎖（ロックダウン）へ戻らないよう対策が打たれば、需要の回復が見込める、との期待が背景です。
- 先週発表の小売り売上高が大幅に上振れ、経済活動再開後の戻りのイメージが改善したことも安心感につながりました。この上振れは財政政策で所得がサポートされたことが寄与したと見られます。

【米国株式市場主要3指標と原油価格】



(注) データは2020年1月2日～2020年6月23日。

米国株式市場主要3指標は2020年1月2日 = 100。
原油価格はWTI。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

今後の展開 経済活動の前向きな変化を受けつつ堅調さを維持しよう

- 新型コロナウイルスの感染第2波への懸念は続く見通しです。その中で、政府支出の拡大や米連邦準備制度理事会（FRB）による企業支援継続に対する期待と、経済活動の前向きな変化に自信を深めることで、株式市場は堅調さを維持すると考えられます。
- ただ、米中の対立は依然続いており、折に触れて株式市場の重石となる可能性がある点には注意が必要と考えられます。22日には米中通商交渉を巡る政府高官の発言で関係悪化懸念が強まり、米国株式先物市場が調整し、23日のアジア株式市場が乱高下する場面が見られました。幸い米政権やトランプ大統領から火消し発言があり、市場は反転し、落ち着きを取り戻しました。今回の高官発言や新型コロナウイルスの発生源を巡る米中の対立は、米大統領選挙を強く意識したものであり、トランプ大統領の支持率が低下する中で、その内容が先鋭化するリスクがあります。米中対立は今後も株式市場のかく乱要因になることが改めて印象付けられました。

ここも
チェック!

2020年6月16日 米国株式市場は2番底を付けに行くのか

2020年6月12日 急落した米国株式市場 期待と実態のせめぎ合いが続こう

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。